

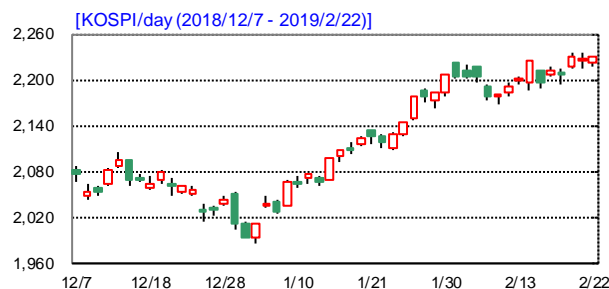


## 【韓国】 総合指数は週間で1.6%高と続伸、今週は米朝首脳会談で様子見か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.6%高と続伸した。貿易や中国の構造改革などを巡る米中通商協議への期待と懸念が交錯する中、週明け18日に回復した節目の2200ポイントを小幅に上回る水準で一進一退の値動きが続いたが、20日に米ドル高を好感した外国人の買いが入り、相場を押し上げた。米国や中国の株高も好感され、22日は昨年10月8日以来4カ月半ぶりの高値で引けている。もっとも世界経済の減速懸念がくすぶり、利食い売りが上値を抑える場面も目立った。韓国中央銀行が19日発表した1月の輸出価格が1%下落し、韓国経済への影響が警戒された。今週は神経質な展開か。27-28日にベトナムのハノイで2回目の米朝首脳会談が開かれる。北朝鮮の核放棄で合意し、会談後の共同声明に盛り込まれるかが注目される。

▼指数チャート

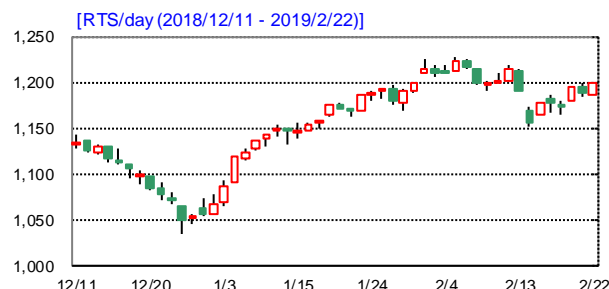


## 【ロシア】 RTS 指数は1.8%高と3週ぶり反発、今週は米中協議をにらんだ展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.8%高と3週ぶりに反発。米中通商協議の進展期待や堅調な企業業績、原油価格の上昇、為替市場でのルーブル高などが好感された。週初は西側諸国による対ロ経済制裁の不透明感からやや軟調な展開となったが、20日は米中通商協議の進展期待に加え、天然ガスのノヴァテックが増収増益決算を発表するなど堅調な企業業績も好感され、指数は前日比で1.8%高。週後半はもみ合ったものの、ブレント原油が約3カ月ぶりの高値圏で推移し、ルーブルが上昇したことも下支えとなった。個別銘柄では、ノヴァテックが週間で3.8%高となったほか、非鉄金属のノリリスク・ニッケル(2.7%高)、石油のルクオイル(1.9%高)などの上昇が指数を押し上げた。今週は米中通商協議の行方や原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



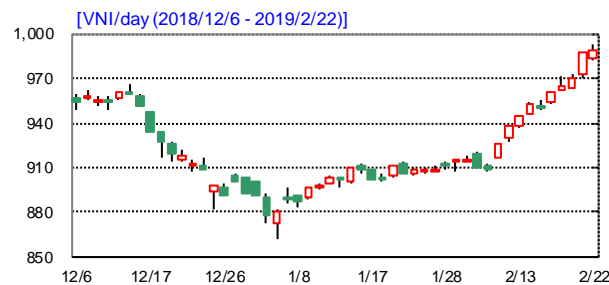
## 【ベトナム】 ベトナム指数は4.0%高と大幅続伸、今週は米中通商交渉の行方が焦点か

### 点か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で4.0%高と大幅に続伸。米中貿易協議の進展期待に東南アジアでの金融緩和期待の高まりも加わり、相場の支援となった。前週に4.6%高と大きく上昇したVN指数は、引き続き好調な展開。週明け18日に1.1%高と上昇してスタートすると、22日まで5日続伸。米中貿易協議の進展期待を背景にセンチメントの改善が続いたほか、米FRBがハト派に傾く中で東南アジア地域でも緩和的な金融政策が見込まれるという思惑も相場を押し上げた。週後半には米中通商協議で両国が原則合意に向けた概要策定を始めたとの観測も好感され、VN指数は10月10日以来の水準を回復した。個別では時価総額2位で不動産のピンホームズが14.7%高と急伸し、指数を押し上げた。今週は米中通商交渉の行方が焦点か。

▼指数チャート



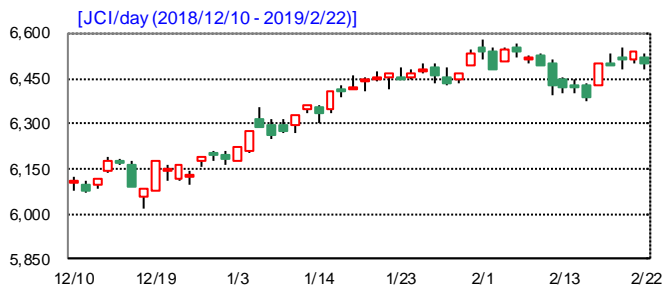


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.8%高、20日に終値で 6500 ポイントを回復**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.8%高と 3 週ぶりに反発。週初の反発が指数を押し上げた。18日は米中貿易協議の進展に対する期待感から買い優勢の展開となり、前営業日比で 1.7%高。19日は小幅に反落したが、20日に終値ベースで節目の 6500 ポイントを回復すると 21日も続伸した。同日に発表された政策金利は市場予想通り 6.0%に据え置かれている。ただ、22日は反動で売られ、反落して取引を終えた。今週は 1日に 2月の CPI が発表される予定。外部要因では、中国の 2月の公式製造業 PMI と財新製造業 PMI が発表される予定で、景況感の分岐点となる 50 ポイントを回復すれば株式相場の支援材料になる。

### ▼指数チャート

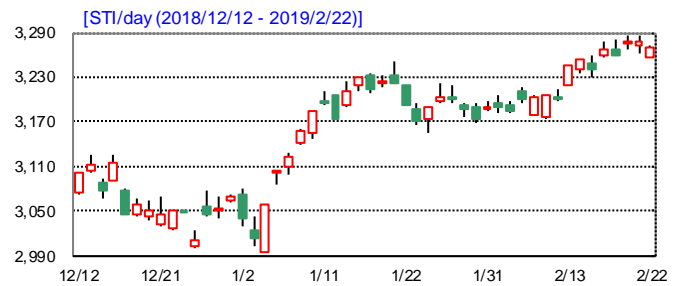


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】スเตรツタイムズ指数は 0.9%高、DBS グループの過去最高益を好感**

スเตรツタイムズ指数は週間で 0.9%高と 3 週続伸。週半ばに約 6 カ月ぶりの高値を更新したが、後半は軟調だった。週初の 18日は、1月の非石油地場輸出が前年同月比 10.1%減と市場予想から大幅に下振れしたものの、18年の純利益が過去最高額に達した銀行最大手の DBS グループが買われて反発。19日は反落したが、20日は決算内容が好調だった不動産大手のキャピタランドが指数上昇をけん引した。ただ、その後は買い材料に乏しく、週末まで続落して引けている。今週は 25日の 1月の CPI に続き、26日には鉱工業生産が発表される。前週末の NY ダウが 3 カ月半ぶりの高値を更新したことは追い風。

### ▼指数チャート

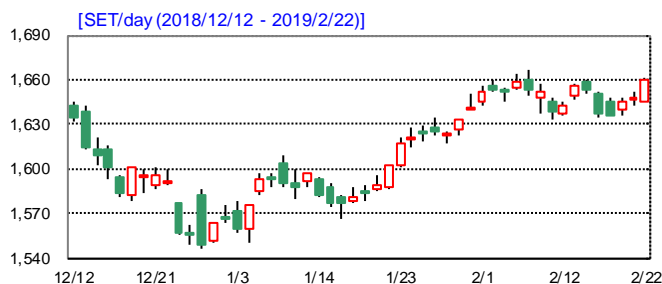


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.4%高、米中貿易協議の進展期待で上昇**

SET 指数は 4 日間の取引で 1.4%高と反発。週初は下落したが、その後はじりじりと上値を広げた。18日は 18年 10-12 月期の GDP 成長率が前年同期比 3.7%と市場予想から小幅ながら上振れしたものの買い材料にならず、指数は 3 営業日続落。一方、祝日を挟んだ 20日は 3月 1日に迫った米中貿易摩擦の交渉期限延長への期待が広がり反発すると、21日も続伸した。22日は 1月の輸出額（通関ベース）が前年同月比 5.7%減と市場予想から下振れし、貿易赤字が 13年 4月以来の最高額に膨らんだが影響は軽微で、3 日続伸して引けている。今週は 28日に 1月の鉱工業生産、1日に 2月の CPI が発表される予定。

### ▼指数チャート

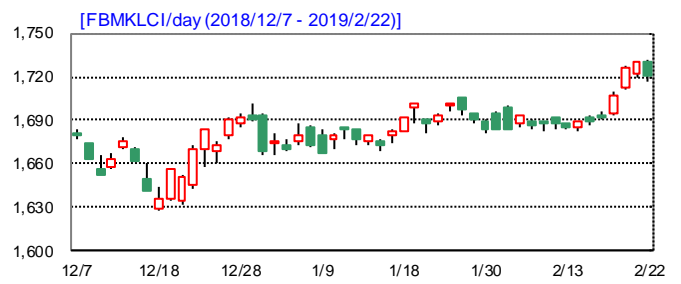


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.9%高、ペトロナスがインドネシアでガス田発見**

クアラルンプール総合指数は週間で 1.9%高と 3 週続伸。おむね堅調に推移した。週初の 18日は米中貿易交渉の進展に対する期待と原油価格の上昇が好感されて指数は反発。19日に終値で 1700 ポイントに到達すると、20日はペトロナスがスペインのレプソル、三井石油開発と共同でインドネシア南スマトラ州の天然ガス田を発見したことや、中止が決定したとされていた東海岸鉄道計画が復活する可能性が報じられたことを受けて前日比 1.1%上昇した。21日には終値で約 4 カ月ぶりの高値を更新したが、22日は 5 日ぶりに反落している。今週は米中貿易交渉と米朝首脳会談の行方が株式相場を左右する展開か。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。